

問1 循環型社会形成推進基本法では、環境負荷を最小限にするために、廃棄物等の処理について優先順位が定められています。この優先順位において、最も最初に取り組むべきとされる行動として適切なものはどれですか。（2016年 岐阜公立入試 類似）

1. 製品の製造や使用の段階で、ゴミの発生そのものを抑制する
2. 一度使用した製品を、形を変えずにそのままの形で繰り返し使う
3. 廃棄物を原材料として処理し、新しい製品の材料として利用する
4. どうしても再利用できない廃棄物を焼却し、その熱をエネルギーとして活用する

問2 2015年に採択された「パリ協定」は、それ以前の「京都議定書」の枠組みから大きく進展したものとなりました。この協定の最も大きな特徴として適切なものはどれか、選びなさい。（2024年 石川公立入試 類似）

1. 先進国だけに厳しい削減義務を課し、途上国には経済発展を優先させる仕組みを継続した。
2. 先進国だけでなく発展途上国を含むすべての参加国が、温室効果ガスの排出削減に取り組むこととした。
3. 二酸化炭素の排出枠を国同士で売買する排出量取引を、排出削減の唯一の手段として定めた。
4. オゾン層を破壊するフロンガスの全廃を目的とし、途上国への技術支援を主な内容とした。

問3 2015年に採択された、地球温暖化を防ぐための国際的な枠組みについて、正しい説明を選びなさい。この合意では、世界の平均気温の上昇を産業革命前と比べて2度未満に抑えることを目指しており、先進国だけでなく発展途上国を含むすべての参加国が温室効果ガスの削減目標を作成・提出することが義務付けられています。（2026年 岐阜公立入試 類似）

1. パリ協定
2. 京都議定書
3. ラムサール条約
4. ワシントン条約

問4 1967年に制定された公害対策基本法は、1993年に「環境基本法」が制定された際に廃止されました。この法律が統合・刷新された理由として、当時の環境政策の変化を説明したものとして適切なものはどれですか。（2026年 山口公立入試 類似）

1. 産業公害だけでなく、都市型公害や地球温暖化など、より広範な環境問題に対応する必要が生じたため。
2. 公害の発生源が工場などの企業に限定されるようになり、規制を簡素化する必要があったため。
3. 環境問題が解決したと判断され、公害対策よりも自然景観の保護を重視する方針に切り替えたため。
4. 公害の被害者救済よりも、企業の経済活動の自由を優先する国際的な合意がなされたため。

問5 持続可能な社会の実現に向けて推奨されている「エシカル消費（倫理的消費）」の具体的な行動として、人や社会、環境に配慮した適切なものを選びなさい。（2023年 熊本県公立入試 類似）

1. 食品の無駄を減らすために、必要な分だけを購入する
2. 家計の負担を抑えるために、価格の安さのみを基準に大量購入する
3. 流通を活性化させるために、あえて遠方の地域で作られた製品を優先する
4. 個人の利便性を最優先し、過剰に包装された商品を積極的に選ぶ

問6 2015年の国連サミットで採択された、貧困や環境問題、経済格差といった地球規模の課題を解決し、将来の世代まで人々が質の高い生活を送れる社会を目指すために設定された「17の目標」の総称を何といいますか。（2024年 香川公立入試 類似）

1. SDGs（持続可能な開発目標）
2. 国連憲章
3. パプアニューギニア会議における決議
4. 世界保健憲章

問7 先進国と発展途上国の保健・医療体制の違いに注目したとき、医療関連支出のあり方と社会の安定について述べた文章として、最も適切なものはどれですか。（2020年 神奈川県公立入試 類似）

1. 経済水準が高い国では、国内総生産に対する医療関連支出の割合が比較的大きく、政府による支出などを通じて国民が広く医療サービスを受けられる体制が整っていることが多い。
2. 1人当たりの国内総生産が低い国では、政府支出による医療体制の整備が困難なため、乳児死亡率を低下させる主な要因は家計による個人的な支出となっている。
3. 統計上、家計による医療費の支出割合が最も低い国において、乳児死亡率が最も高くなるという逆相関の傾向がすべての国で確認されている。
4. 乳児死亡率を低く抑えている国は、国内総生産に占める軍事費の割合を医療関連支出の政府負担分よりも常に優先して予算配分を行っている。

問8 持続可能な社会を実現するための「3R」という考え方のうち、リユース（再使用）に該当する具体的な取り組みとして最も適切なものはどれですか。（2022年 徳島公立入試 類似）

1. 製品を購入する際に、過剰な包装を断ることでゴミとなるものの発生を抑える。
2. 使い終わったシャンプーなどの容器を捨てずに、中身を詰め替えて繰り返し使う。
3. 使用済みのペットボトルを細かく砕き、加工して新しい衣類や文房具の原料にする。
4. 使い捨ての割り箸ではなく、洗って何度も使える自分専用の箸を持ち歩く。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 製品の製造や使用の段階で、ゴミの発生そのものを抑制する	循環型社会を作るための優先順位は、1.発生抑制（リデュース）、2.再使用（リユース）、3.再生利用（リサイクル）の順とされています。リサイクルには加工や輸送のためのエネルギーが必要となるため、まずはゴミそのものを出さない「リデュース」が最も環境負荷が低い活動として重視されています。
問2	<b>答え 2</b> 先進国だけでなく発展途上国を含むすべての参加国が、温室効果ガスの排出削減に取り組むこととした。	2015年のパリ協定は、地球温暖化対策としてすべての国が参加する画期的な枠組みです。1997年の京都議定書では先進国だけに削減義務が課されていましたが、世界の二酸化炭素排出量の構造が変化したことを受け、発展途上国も含めたすべての国が削減目標を作成・提出することが義務付けられました。
問3	<b>答え 1</b> パリ協定	1997年に採択された京都議定書では先進国だけに温室効果ガスの削減義務が課されていましたが、その後継となるパリ協定では、歴史上初めて途上国を含むすべての参加国が削減に取り組むことになりました。これは、持続可能な社会を築くための国際的な大きな転換点となっています。
問4	<b>答え 1</b> 産業公害だけでなく、都市型公害や地球温暖化など、より広範な環境問題に対応する必要が生じたため。	公害対策基本法は、主に工場の排煙や排水による「産業公害」の防止に重点を置いていました。しかし、生活排水や自動車の排ガスによる「都市型公害」、さらには地球温暖化のような「地球環境問題」が重要視されるようになったことから、それらを包括的に扱うために1993年に環境基本法へと発展的に引き継がれました。
問5	<b>答え 1</b> 食品の無駄を減らすために、必要な分だけを購入する	エシカル消費は、消費者それぞれが自身の利益だけでなく、社会や環境に与える影響を考えて行動することです。食品ロスを削減するために必要な分だけ買うことは、廃棄物の削減につながる重要な行動です。一方で、安さだけを追求した大量消費や利便性のみの追求は、環境負荷を増大させるためエシカル消費とは対照的な概念となります。
問6	<b>答え 1</b> SDGs（持続可能な開発目標）	国際連合（国連）が主導して定めたこの目標は、2030年を達成期限としています。環境保護だけでなく、貧困の撲滅や教育の普及、ジェンダーの平等など、社会・経済・環境の3つの側面を統合的に解決しようとする点が特徴です。17の大きな目標と、それをより具体化した169のターゲットから構成されています。
問7	<b>答え 1</b> 経済水準が高い国では、国内総生産に対する医療関連支出の割合が比較的大きく、政府による支出などを通じて国民が広く医療サービスを受けられる体制が整っていることが多い。	先進国では、高い経済力（国内総生産）を背景に、税金や社会保険などの政府支出を通じた医療保障制度が確立されています。これにより、個人の家計負担が抑えられつつも質の高い医療を受けられるため、乳児死亡率が低水準に保たれています。対照的に、発展途上国では政府の財政基盤が弱く、医療関連支出において政府が果たす役割が小さいため、保健衛生の改善が大きな国際的課題となっています。
問8	<b>答え 2</b> 使い終わったシャンプーなどの容器を捨てずに、中身を詰め替えて繰り返し使う。	リユース（再使用）は、一度使用した製品や容器を廃棄せずに、洗浄や詰め替えを行って「そのままの形」で繰り返し使うことを指します。シャンプーのボトルを捨てずに詰め替え用を利用することは、容器をそのまま再利用するためリユースの代表的な事例です。一方、ゴミを減らすことはリデュース、原料として再生させることはリサイクルと呼ばれます。